

# 障害や障害のある人への理解促進

市の課題

2020年までに連携プロジェクトにより目指す社会

各効果が解決する課題

長期的な取組の効果

取組  
(平成30年度以降)

各取組の効果

取組 (平成29年度後半)

障害のある人とない人が日常的にスポーツができ、定期的に交流ができる地域コミュニティ

健全者と障害者が一緒にスポーツをする

障害者がスポーツをする機会が増える

障害者スポーツ普及啓発

市民が東京パラリンピックを応援する

オランダの取組事例を学ぶ

指導者・ボランティアが地域で障害者スポーツをサポートする

障害者スポーツ指導員ボランティアの育成

平成29年度の取組継続深化

小・中学校児童館等でのパラスポーツ体験事業

ボッチャ  
コーフボール  
ゴールボール  
体験教室・市民大会  
試合観戦

パラリンピックサポートセンター事業  
ジャパンパラ観戦

各スポーツクラブへの障害者の参加  
スポーツワークショップ

平成29年度の取組継続深化

ボランティア育成講習会

指導者派遣

障害者がスポーツの楽しさを体感する

健全者が障害者や障害を知る

健全者がスポーツボランティアサポーターに興味を持つ

指導者・ボランティアが障害者スポーツの知識を身につける

健全者と障害者が一緒にスポーツを楽しむ

H30.1~  
障害者向け  
スポーツ教室

H30.1  
FC東京  
障害者スポーツ事業

H29.11  
ENJOY  
ニュースポーツ

H29.12  
パラリンピック  
競技体験事業

H29.12.23  
リレーマラソン

H30.1  
パラポーツ  
指導者講習会

市民がプロジェクトに興味を持つ

H29.11.12 市民まつり

- 【評価方法】
- ・障害福祉課調査（余暇活動の状況（現状と意向、支援））
  - ・障害者へのアンケート（スポーツをやってみたいか、普段身体を動かす場所はどこか、スポーツや運動で困っていることがあるか）
  - ・健全者へのアンケート（障害者と一緒にスポーツをしたことがあるか、障害者とスポーツすることに壁があるか）
  - ・事業参加者へのアンケート
  - ・スポーツ推進員へのアンケート（障害者への指導の意識、技術の変化）

